

3年生が頑張っています！

現在3年生は私立大学の一般入試の真っ最中です。また今月の下旬には国公立大学の二次試験が行われます。今まで勉強してきたことを本番で発揮するべく入試に向かっていきます。朗報も舞い込んできています。また、第一志望校にこだわり、今も学校の図書室で勉強しながら後期試験にチャレンジしようとしている人もいます。3年生のここ一番の頑張りに期待したいと思います。

模擬試験の手応えは？



1年生は1月19日に進研模試が、2年生は2月9日、10日に進研のセンター試験早期対策模試が行われました。手応えはどうでしたか？もう復習はしましたか？いつも言っているように、模試を受けたあとは必ずやり直しをしましょう。

2年生の今回の模試は名前のおりセンター試験の形式のものです。つまり、もう受験生向けの模試です。今年の3年生は157名がセンター試験を受験しました。国公立大を目指す人はもちろん、センター試験の結果を利用してたくさんの方が私立大学を受験しています。もうすでに合格を勝ち取っている人も出ています。模試を受けて、こんな問題を解くことができるようになるんだろうかと思った人もいるかもしれませんが、今から基礎的な事柄を身につけていけば、十分間に合います。先輩たちの多くが口にするのが、もう少し早く始めておけば良かったということです。手始めに今回の模試を徹底的に復習してみてください。

基礎学力をつけるために最も大切なことは、授業を真剣に受け、授業で習ったことを確実に定着させていくことだと思います。そのためにも予習・復習をしっかりと、小テストなどにも積極的に取り組んでいくことが必要です。

英語に関しては、センター試験や私立大学の文法問題などは、教科書で習った知識で解答できる標準的な問題で構成されています。例として今年行われた近畿大学の入学試験の文法問題を取り上げてみます。2年生はすでにすべて習っている文法事項です。ぜひトライしてみてください。



- 問1 The latest version of the program is () more complicated to use.
 ア even イ such ウ too エ very
 【ス】 p.85 【グ】 150
- 問2 For all his learning, he is a dull companion to ().
 ア be spending time イ spend time ウ spend time with
 エ spending time with
 【ス】 89 【グ】 41
- 問3 Many books are published each year, but very () are worth reading.
 ア few イ hardly ウ little エ mostly
 【ス】 639 【グ】 131
- 問4 The next morning found the young man () and ready for work.
 ア refresh イ refreshed ウ refreshing エ refreshment
 【ス】 p.193 【グ】 64
- 問5 This is the oldest wooden building () we can see in this city.
 ア in which イ that ウ what エ where
 【ス】 346 【グ】 91
- 問6 The committee submitted two proposals, and () was accepted.
 ア any イ both ウ neither エ not
 【ス】 321 【グ】 179
- 問7 She did not know about the accident () she met him at the station.
 ア by イ during ウ in エ until
 【ス】 418 【グ】 108
- 問8 School () over, all the students were eager to start on their vacation.
 ア been イ being ウ had been エ having
 【ス】 149 【グ】 68

《正解》 問1ア 問2ウ 問3ア 問4イ 問5イ 問6ウ 問7エ 問8イ

問題の下に付記した【ス】は2年生が現在使用していて、1年生も来年使用することになっている『スクランブル英文法・語法』【グ】は今年の3年生がコミュニケーション英語の授業で使用していた問題集で、39回生も使用することになっている『GRAMMAR COLLECTION』という問題集のことを指しています。番号はそれぞれの問題集に出てきた問題番号またはページ番号を指しています。近畿大学は難関校の1つに取り上げられていますが、それでも実際の問題は、授業で習い、問題集等でさらに復習した事項ばかりだということです。その都度確実に覚えていけば、全問正解することも簡単なことです。

ウラにつづく

例に英語を取り上げましたが、他の教科でも同じです。今年の入試問題にも授業で扱った問題が出題されています。授業に真剣に取り組み、確実に基礎学力を身につけていきましょう。それが進路実現への近道です。

英語外部試験について

上でセンター試験について触れましたが、現在の1年生が受験する2021年からは、センター試験がなくなり、新しく大学入試共通テストが実施される予定です。その際に、英語の外部試験が導入されることになっています。それに先駆けて、今年の入試でも従来以上に英検やGTECの点数がみなし得点や英語外部試験利用入試等の形で使われています。いくつか例をあげてみます。

関西大学の例

実用英語検定：2級以上 GTEC(4技能)：960点以上 英語の試験免除

近畿大学の例

公募推薦入試において、英語のみなし得点として利用する

英検：準1級 100点 2級かつCSEスコア2150以上 90点 2級 80点

GTEC(3技能)：650以上 100点 580以上 90点 530以上 80点

甲南大学の例

センター利用型（前期） 外部英語試験活用型で英語のみなし得点として利用する

英検：準1級以上 100点 2級 80点

GTEC(3技能)：750以上 100点 650～750未満 90点 550～650未満 80点

大阪経済大学の例

一般入試前期C方式（大学入試センター利用）入試において、英語のみなし得点として利用する

英検：1級 100点 準1級 90点 2級 80点 準2級 70点

GTEC(4技能)：1350以上 100点 1190～1349 90点 960～1189 80点
690～959 70点

関西外国語大学の例

一般前期S方式入試において、英検2級取得者に対して、独自試験英語の得点に10点加点する

以上は今年度の入試に関する情報です。GTECに関しては、来年度入試からは4技能のみが利用される可能性が高いです。上記の例以外でも従来通り推薦入試で点数化したりする大学は多数あります。英語力をつける意味でも積極的に検定試験等に挑戦しましょう！

学年末考査まで1週間をきっています！

今週の金曜日から学年末考査が始まります。もう試験勉強を始めていることと思います。今年度最後の試験です。しっかり勉強して受けましょう。

3月に渡される通知表には各科目5段階で評価されています。この成績を評定と呼び、その全科目の平均を評定平均と言います。大学、短期大学、専門学校を受験で、出願資格として評定平均が条件になる場合があります。また、評定平均を点数化する大学・短大もあります。たとえば、京都産業大学や佛教大学の推薦入試の総合判定型、甲南大学の後期入試では、評定平均が20倍されて100点、龍谷大学や同志社女子大学の推薦入試では10倍で50点として判定に使われています。また、看護系の4年制大学や専門学校の多くでは、評定平均を出願条件としています。

1年の締めくくりの試験です。今やっていることを確実に自分のものにして今後の目標に向かっていきましょう。



こぼれ話

昨年と今年の入試の英語の長文のテーマの中に、おもしろいものがいくつかありました。たとえば、ユニクロの求人広告だったり、スマホを校内に持ち込んではいけないというルールについてのお知らせだったり、また東京オリンピックが近づいているせいか海外旅行者の数をグラフにしたものなど、身近な話題を取り上げたものがたくさんありました。こういうよく知っている話は英語であってもとても読みやすいものです。

入試に必要なか必要でないかということではなく、すべての教科において、普段からいろんなことに興味・関心をもって、情報を知り、知識を蓄えることが成功の秘訣だと思います。